



県内2か所目となる防災拠点完成

大災害に備えて B&G 財団と養父市が防災協定を締結

養父市は B&G 財団（東京都港区・会長 前田康吉）との防災協定締結及び、新たに設置した防災倉庫等のお披露目イベントを 2025 年 4 月 22 日（火）に行います。

養父市では、2024 年 8 月 23 日（金）から B&G 財団が展開する第三期「防災拠点の設置および災害時相互支援体制構築」事業に着手しています。この事業は、災害発生時の緊急対応・避難所運営に必要な防災資材の配備や、重機等の資機材を災害現場で有効に活用するための実践的な研修などにかかる費用を、B&G 財団から 3 年間で総額 5,900 万円を上限に助成を受けるとともに、周辺自治体との災害時相互応援などの体制づくりを推進するものです。

事業のうち、防災機材等の配備（5,000 万円）は 2024 年度末に完了しており、防災拠点の活用を地域へ周知するためお披露目イベントを開催します。

なお、本事業は B & G 財団が 2021 年度から開始し、2024 年度末までに 39 道府県 69 市町村に事業展開しており、兵庫県内では南あわじ市に次いで 2 番目の防災拠点の設置となります。



配備された防災器材（一部イメージ）

- 日時 2025 年 4 月 22 日（火） 午後 2 時～3 時
- 場所 B&G 防災倉庫（養父市八鹿町朝倉 102 番地 1 静霊苑西側駐車場）
- 内容【式典】1 あいさつ B&G 財団理事長 菅原悟志（すがわら さとし）
2 協定書調印
3 あいさつ 養父市長 大林賢一
4 事業概要の説明
5 質疑応答
【お披露目イベント】 たいようこども園の園児 29 名を招き、ショベルカーの乗車体験・煙体験テント・実際の火を用いた消火体験を開催します
- 配備資機材等 ショベルカー 2 台、スライドダンプ 2 台、防災倉庫 1 棟、救命ボート 1 艇
市内小中学校等 12 校にブルーヒーターと発電機を各 3 セット、
消防団に投光器と発電機 15 セット、消火訓練セット、煙体験セットなど
- 参加者 B&G 財団理事長 菅原悟志
養父市長 大林賢一、副市長 井上 剛、教育長 米田規子
養父市副議長 深澤 巧氏

【問合せ】 危機管理室防災安全課 課長 津崎宏行 担当者 藤原淳二
電話 079-662-2899